



インクルーシブ教育実践論

学級、授業、学校づくりの実際

(株) LITALICO との連携授業を行いました！

開催日時：2026年5月22日(金) 13時10分～14時40分

実施方法：対面講義

講師：金井 敦司 氏、松下 桃子 氏（株式会社 LITALICO）

担当：岡村 章司 教授、小川 修史 教授

株式会社 LITALICO より講師をお招きし、インクルーシブ教育の実現に向けた支援の在り方についてご講義いただきました。講義では、子ども一人ひとりに応じた学びを支えるための視点や、教育支援システム・データの活用、また教育者として子どもとどのように向き合うべきかについて、具体的な事例を交えながらお話しいただきました。

学生の感想からは、まず「子どもの環境に目を向ける」という視点が大きな学びとして受け止められていたことが分かりました。これまでは子ども自身に原因を求めがちであったという振り返りが多く見られ、教室の配置、授業の進め方、教材、周囲の人間関係など、環境の側に要因がある可能性を考えることの大切さを学生は指摘していました。また、学習支援教材や教育支援システムについて、教員の負担軽減や子ども理解の促進につ

ながるものとして関心を持つ学生も多く見られました。一方で、教師自身が考えることをやめてしまってはならないという意見が複数見られました。「教育者の限界を教育の限界にしない」という言葉を通して、教師が自分の知識や経験だけで子どもの可能性を決めつけてはならないということを強く受け止めていました。

今回の講義は、学生にとって、子ども理解の在り方を見直す機会となり、インクルーシブ教育をより現実的かつ具体的に考える機会となりました。

